



# KUFS TOKYO NEWSLETTER

2010年1月15日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.21

## トピックス

- ごあいさつ
- 新年のごあいさつ
- 東京支部お知らせ
- キャリアサポート事情
- 実行委員長ごあいさつ
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り
- 「フランス編」

外大校友会会長坂本様より  
新年のごあいさつ

内外支部で活動活発化

東京オフィス機能発揮

森田嘉一理事長総長

キューバ共和国より

連帯大勲章授与

大学 国際教養学科開設

## \* 東京支部 NEWSLETTER 第21回 \*

明けましておめでとうございます。

『春を寿ぐ』日本ならではの素敵な言葉ですね。新年のめでたさをよりめでたきものにすることが『春を寿ぐ』ことの意味です。自然も、人の心も、物も皆新たに生まれかわる新年。春を予感させる新しい生命の芽生え、来るべき豊穡、健やかな日常への祈り…今年1年が、皆さまにとって、すばらしい1年となることを心よりお祈り申し上げます。



この東京支部 NEWSLETTER も21回目となりました！  
KUFS 現役学生と卒業生の架け橋になることを目標に、情報交換のコミュニケーションスペースとして、ますますの充実を図ってゆきたいと思えます。まだ NEWSLETTER を受け取られていらっしゃらない方をご紹介いたしますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> [tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

## 新年のごあいさつ



京都外国語大学校友会会長  
坂本 利正 様  
よりご挨拶をいただきました。

明けましておめでとうございます。  
東京支部会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は当会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰様で、校友の絆は年々広く大きく発展して参りました。昨年11月には上海支部が新たに設立されるなど、内外各支部での活動も活発化しております。

大手町に開設されている大学の東京オフィスも、支部の皆さんの応援を得て次第にその機能が発揮されてきています。

森田嘉一理事長・総長には、昨年12月にキューバ共和国から「連帯大勲章」を授与され、お元気に新年を迎えられたことは、私どもにとっても嬉しい限りです。

大学では、4月の新年度から、外国語学部9番目の新学科「国際教養学科」が開設されますし、武道体育館近くに建設されていた「留学生宿舎

設立 50 周年に向けての  
準備スタートの年

大学と校友会は  
車の両輪の如く着実に歩むもの

東京支部ホームページオープン  
2010 年初頭を飾る  
東京支部記念大事業！！

20 年以上の歴史を写真で綴る  
「今昔物語」  
ニュースレターのバックナンバー  
新着情報などなど・・・

1 月 20 日内覧開始  
正式キックオフは 2 月上旬  
お楽しみに！！

就職氷河期の再来！

2010 年春卒業大学生の  
就職内定率過去最低

京外大生も例外ではない

棟」が 3 月に竣工の運びです。

さて、当会は、2 年先の平成 24 年に設立 50 周年を迎えます。半世紀の節目であり、皆様に楽しんでいただける事業を企画することにしており、本年(平成 22 年度)は準備のスタートの年となります。役員、常任幹事、そして本山裕彦東京支部長をはじめ各支部長の皆さんを中心に、知恵を出し合っていただくよう期待しています。

大学と校友会は“車の両輪の如く”着実に歩むものというのが、私の持論です。皆様には、本年も当会の活動にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 東京支部からのお知らせ

### 東京支部ホームページ・オープン 真近！！

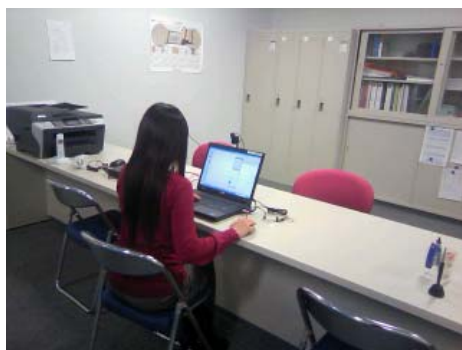
いよいよ、東京支部のホームページが立ち上がります。2010 年の初頭を飾る、記念すべき東京支部の大仕事です。私たちは常に「卒業生の卒業生による卒業生のための」支部活動を念頭に国内・海外で頑張っている卒業生と卒業生に橋をかけ、親睦・友好の輪を広げることを使命としています。

東京支部は 1988 年に産声を上げました。ホームページのコンテンツには、20 年以上の歴史を写真で綴る「今昔物語」など、卒業生をつなげ・つながるきっかけとなる、見て読んで楽しんでいただける内容が満載です。東京支部発行のニュースレターのバックナンバーも創刊号より閲覧いただくことができます。新着情報も常に更新され、活気のあるコミュニケーションサイトを目指します。

1 月 20 日を目処に内覧を開始し、正式なキックオフは 2 月上旬を予定しております。

皆様には改めてホームページのアドレスを含めオープンのご案内をさせていただきますので、楽しみにお待ちいただきたいと思っております。皆様の引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

## キャリアサポート事情



### ～就職氷河期の再来？！～

2010 年春卒業予定の大学生の就職内定率は悪化し、下落率は過去最大と言われております。新聞紙上などでも就職氷河期再来という文字が躍っています。

京外大の学生においても例外ではありません。そんな中、当編集部は大手町の東京オフィスを訪ねてみました。新年早々、就職活動に取り組む英米語学科 3 回生の女子に話を聞くことができました。彼女は東京恵比寿での

就職活動中の英米語学科3回生  
今回ホテル・ウェディングを扱う  
コンサル会社説明会のため上京

就職支援で一番感動したのは  
東京オフィスの存在とコメント

東京支部とキャリアサポート  
センターの連携と強調に期待！

実行委員長

平成8年度スペイン語学科卒業  
福島聡文さん

恒例の外大卒業生の集い

7月10日渋谷で開催予定

より良い会の成功目指して活動

皆様のご参加をお待ちしていま  
す

企業説明会に参加のため上京中でした。福井県の出身で中2の時に英語の先生から、日本の文化と外国の文化に触れられる大学として京都外大の名前を聞いて入学を志望したとのことでした。昨年2月には、大阪のリッツカールトンホテルでインターンシップを経験、今回はホテルやウェディング等を扱うコンサル会社の説明会に参加をしました。しかし、彼女の本当の夢は、「専門商社で食料品のバイヤーになること！」だそうで、彼女の就職活動はまさにこれからが本番といえます。最後に、「就活支援で一番感動したのは、ここのオフィスの存在です！」とのコメントを添えてくれました。更に、首都圏で活躍する先輩卒業生と直接話が聞けることの素晴らしさとその必要性を訴えてくれました。東京支部とキャリアサポートセンターとの一層の連携と協調が期待される所です。

東京オフィスの電話番号は 03-6225-2058 です。

## 東京支部総会・懇親会実行委員長ごあいさつ



実行委員長、平成8年度スペイン語学科卒業  
福島聡文さんからのご挨拶

皆様、新年明けまして、おめでとうございます。このお正月はどのようにお過ごしされたのでしょうか？私は、年末までバタバタとして、(仕事そして、家の大掃除！)何とか、元旦を迎えることができ、お正月は、家族でゆっくりと過ごすことが出来ました。

さて、本年も恒例となっています『外大卒業生の集い』を7月10日に渋谷にて開催の予定をしております。今からスケジュールを空けて頂ければ嬉しく思います。

(今回はちょっとカジュアルで、とっても楽しい会になると思います！)

会では、諸先輩方のためになる話や、アドバイス、そして、同窓生や後輩との出会い、、、(世代を越えた交流ですねっ！)とても有意義で楽しい時間を過ごすことが出来ます。

今回は実行委員として、より良い会の成功を目指して活動しておりますが、もちろん、7月の会だけでなく、卒業生の交流や活動も微力ながらサポートできれば幸いだと考えております。まだまだ若輩の身のため、諸先輩方のご指導ご鞭撻も、宜しくお願い致します。

どうぞ年に一度の同窓会、皆様のご参加をスタッフ一同お待ちしております！！

## 外大生・横顔シリーズ

昭和52年度英米語学科卒業

堀内呉代さん

卒業後6年間JAL国際線勤務

結婚、シンガポール生活

JAL復帰後接遇インストラクター

昨年よりキャリアサポートセンタ

ー東京オフィスにて仕事

接客業に携わって

人との繋がり大切さを実感

母校のためにお手伝いを...

平成1年度中国語学科卒業

遠藤貞文さん

バブル前年静岡から京都に

学生時代は残念ながら、

精神的に満ち足りた学生生活

ではなかった



昭和52年度英米語学科卒業  
堀内呉代さんのご紹介です

**初めまして！**

大学を卒業し、JALに入社し6年間、国際線を乗務しておりました。その後、結婚・子育て・夫の赴任でシンガポール生活。帰国し、OGとしてJALに復帰する機会を得て、JAL ウエイズに入社。

JALのリゾート路線中心に乗務し、私たち主婦は月に2回のフライトで若い頃より楽しくフライトをしておりました。

その頃から平行して、接遇インストラクターの勉強をして、様々な会社の新入社員研修や面接官、審査員などの仕事をJALの先輩や後輩たちと行ってまいりました。

昨年(2009年10月)に、JALの上司でもあり、大学の先輩でもある方々よりお誘いを受け、キャリアサポートセンター東京オフィスで仕事をしております。頼もしい先輩方と、母校のために……とチームワークよく仕事をしております。

長年、接客業に携わっていていつも思うことは、人と人の繋がりはとても大切で、人はひとりでは生きていけないし、自分自身を大切にするのは勿論のこと、それ以上に先輩、友人、家族自分を取りまく人たちへの感謝の念と思いやりの気持ちを持つことがとても大事な事である、と実感しております。

今、私はJALOG会の理事をしています。東京オフィスでお仕事をさせていただいているのも、人と人の繋がりの中で得られたものだと感謝しております。これからも、母校のために微力ではありますが、少しずつお手伝いをさせていただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 外大生・横顔シリーズ



平成1年度中国語学科卒業  
遠藤貞文さんのご紹介です

バブル前夜の年1986年に、静岡の片田舎から京都外国語大学に入学するために京都にやってきました。大学時代は音楽系のクラブ活動に所属しておりましたが、今振り返りますと、学生時代は特に勉学・クラブ活動に励むというわけでもありませんでした。

地方からいきなり都会に出てきた戸惑いがかかえつつ、当時満足に自我形成出来ていなかったこともあり、常に自分の回りのあらゆることに焦燥感を覚えていた様な気がします。ですから精神的に満ち足りた充実した時間を過ごせたとは言えない学生生活であったと残念ながら今感じております。

卒業後大阪の化学メーカー系商社に入社

現在は三井物産系自動車関連商社に勤務

営業活動に多忙な日々

90年に卒業後は故郷に戻らず大阪市の化学メーカー系商社に入社。仕事の傍ら外大時代にかじった英会話を社外で勉強しつつ営業職を勤めました。(中国語の方はさっぱり。)香港出張するなどして語学力を使うチャンスもありましたが、16年間勤務した同社を2006年に退社。同年秋に現在の勤務先である三井物産系の自動車関連商社(三井物産オートモーティブ株)に入社し、生活拠点も関東に移動。現在、北米向け自動車部品輸出を担当する営業課長として日々英語メールとにらめっこ、米国出張もこなしております。ご存知の通り、リーマンショック後自動車産業も長い低迷のトンネルの中にありましたが、若干ですが市況も回復の兆しを見せつつあり、目下営業活動に多忙な日々を送っております。

## 外大生・横顔シリーズ

メキシコ料理レストラン

La Casitaオーナーシェフ

渡辺庸生さん



メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

昭和46年 イスパニア語学科中退  
渡辺庸生さん

メキシコ本国における料理場の成り立ちは実に興味深いものがある。それは伝統料理を提供する殆どのレストランの要の部署を女性たちがしめている実情である。

メキシコの料理場は女性中心

メキシコ人の食意識は

おふくろの味

トルティージャの焼き場やスープ類、各種アントヒートス(伝承惣菜)の調理部門など全て婦人たちが任されている。我国の調理場は大体男性中心に構成されているが、メキシコ人の食に対する意識は家庭を基本とした「おふくろの味」から成り立っているものと推察される。生命の糧であるトルティージャと種々の献立を組み立てる味に関して、女性が絶対的な信頼と尊敬の念を抱かれて仕事に従事している姿が各所にある。古来から現代に至るまでのメキシコ料理を支えてきた、神からの奇跡の贈り物であるとうもろこしを慈しみ、正に「母なる大地の恵み」を大事に育て上げてきたこの国の食文化は、近代文化に翻弄された日本の我々が失いつつある、食の原点を教えられる感がある。タコスに代表される幾つものアントヒートスが構築する独創的な着想の料理の数々は、美味しいものを常に供したい母親の愛情が基本となった、多大なる信頼に伝承された礎の歴史といえるだろう。惣菜も含めて、トルティージャやマサ(生地)を主体に作られるアントヒートスの意味が「欲しくてたまらないもの」と訳されるのも、母と子供の生活に根ざした純朴な食の要求が動機なって浸透したものと考えられる。

メキシコ料理の数々は

母親の愛情が基本

修業時代の印象的な出来事

献立名「渡辺のカニスープ」

修業時代に印象的な出来事がある。1975年春の頃、わが師であるSR. GABRIELがいつものように月変わりの特別メニューの献立を皆に発表し始めた時の事だった。中の一品に「SOPA DE JAIBA WATANABE」(渡辺のカニスープ)とあった。驚いた。尋ねると「お前のイメージで料理を作ってみたんだ」とあっさりと答えてくれた。それまでがむしゃらにノートをとり、何でもコピーして覚えればよいと考えていた私に、メキシコ人テイストを理解すれば、料理にはあらゆる可能性があり、無限に広がっていくものだと

メキシコ人テイストを理解すれば

料理は無限に広がる・・・

メキシコ料理の発展

教え子たちの活躍に期待

平成 12 年度フランス語学科卒

寺尾恵さん

Bonne fête 師走！！

フランスのクリスマスイブは

長時間に及んで・・・

さらに本番のクリスマスも

前日の再放送のようなパーティ

気付かせてくれたのである。それは家庭料理における食材をいとおしみ、子供の喜ぶ顔が見たいという母親の気持ちに通ずるものだと実感した。伝統料理の最高峰のレストランであるが故ではなく、彼を始め、厨房全員が温かい心で調理するからこそ何十年も絶賛され続けているのだと・・・。

2 年前、弟子の一人が彼の元で教える機会があった。厨房を実体験した彼女の報告は、私に話を聞いた通りで感動したというものだった。我国におけるメキシコ料理の発展はまだまだ始まったばかり、充実した未来図に向かって教え子達の活躍に期待したいものである。

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

## 海外便り「フランス編」



平成 12 年度フランス語学科卒業  
寺尾恵さんからの便りです。

### Bonne fête 師走！！

12 月のことを師走といいますね。師が走るほど忙しい月だと・・・師とはどこの先生か、お師匠さんなのか分かりませんが文の流れから読むと普段はよっぽどのんびりした人だったのかな??

なんて実際には考える暇もないくらいまさに忙しい 2009 年最後の月を過ごしました。

まずは引越しをする為に広告やら何やらを見て電話をしてアポをとり・・・というところから始めとうとう 12 日に引越し(パリから電車で 30 分のムランという町に引っ越してきました!)。したと思いきや引越しの片付けも終わらないままクリスマスへと、まさに突入した感が・・・。

クリスマス直前の休みに全員分の(今年は少ないらしく 8 名でした。)プレゼントを用意し、24 日の仕事が終わってからフランスの家族の家へ！！

自家製アペリティフ(生姜シロップとクレマンという発砲ワインのカクテルにライチを入れたもの)とおつまみでおしゃべりを楽しみ、前菜は生牡蠣と海の幸。実は前菜が終わった時点ですでに 23 時を回っていて、この後のメインのお肉はごく一部の強靱な胃袋を持つ人だけが堪能したのです。深夜の 0 時をまわったところで、通常は 25 日のイベントであるはずのプレゼント分配。思い思いに思考を凝らしたものを未来の持ち主たる人に配り、にぎやかに開いてああでもない、こうでもない、みんな年は関係なく子供のよう。食べて、おどって、おしゃべりして・・・ようやくメインをパスしてのデザートにたどり着いたのは夜中の 2 時。そして、パーティーは 3 時にお開きとあいなったわけです。

そしてクリスマス本番の 25 日はのんびりと質素に食事をして、穏やかに解散するのだろう。・・・と思っていたのですが、また始まりました、パーティーが・・・。しかもみんな前日の疲れが残っていたので、集まりが遅く、15 時から！！そしてまるで前日の再放送のような、食べて、おどって、おしゃべりして、のパーティーが！！

家族(といっても幅広く、親戚、娘の彼氏、のまたおじいちゃん、おばあちゃん、そして、とある日本人)で集まり皆で楽しく過ごす。プレゼントも決して、

決して無理はしない自分たちの  
できる範囲での楽しみ方  
すばらしい！！

厄年の波乱の幕開け

ささやかな平凡で基本的な暮らし  
が誰にでも普通に手に入るように  
世界が平和でありますように！

高価なものではなくただ、その人を思いやって工夫して買ったもの。お料理も上手に買ったり作ったり。決して無理はしない自分たちの出来る範囲のものを用意して、楽しむ。ああ、すばらしい。この人たちのこういうところが私は好きだ！でも、皆さんの体力と胃力には驚きました。ただ純粋に本当に楽しいノエル(クリスマスのことをフランス語では Noël ノエルと言います。サンタクロースは Père Noël ペール・ノエル)を過ごしました。

その後ですが、私は当然次の日も仕事。年末と一緒に過ごそうとリヨンからそば持参で駆けつけた日本人の友達と年末を過ごし、今年もいい年になりますように…と願い事をした矢先 2 日の朝には車上荒らしに遭い、とやかなかの波乱の幕開けの予感。厄年なので当然なのかなあ、とおもいつつ、今年もいい年になりますように、幸せがたくさん訪れますように、と願います。

仕事があつて、お給料がもらえて、家があつて、と平凡な幸せを願えば願うほど、そこには世界平和が必要なのだと強く思います。毎年初詣には “ 幸せが訪れますように、 ” と願ってきましたが、以上の理由から今年からは手っ取り早く、世界平和を願うことにします。

ささやかな平凡で基本的な暮らしが誰にでも普通に手に入るように世界が平和でありますように。



クリスマスの前に通りかかった教会の前にはイエスの誕生シーンを表すクレッシュという飾りがありました。ただ肝心の主役をのぞいて…

26 日に通るとイエスがちゃんとそこに！！

**\*\*\* ガンバレ、外大卒業生！ \*\*\***

=====  
事務局便り=====  
いよいよ東京支部ホームページの開設が、間近になってまいりました。ニュースレターもより活発なコミュニケーションスペースとして、皆様のお手伝いをさせていただきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年も引き続き、現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔を引き続きご紹介していきたいと思っております。

皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いませんので、

当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> [tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

=====

事務局  
103-0024  
東京都中央区日本橋小舟町  
2-9 カーサ日本橋ビル 7 階  
（株）グローバルメディア内  
電話  
03-5623-6550  
FAX  
03-5501-9031  
電子メール  
[tonegawa@gm-group2.net](mailto:tonegawa@gm-group2.net)

企画・編集： 森田 順子  
発行責任者： 本山 裕彦